



発行 2025年12月号
全日本民医連
糖尿病シンポジウム
実行委員会 news Vol.3
作成
・塩尻協立病院 糖尿病班
・事務局

Multi-problemに対応する底力～先端・在宅・格差社会～

2025年11月8日 塩尻協立病院ひまわり会（糖尿病患者会）で、秋の親睦会『かやぶきの館への紅葉狩り』に出かけました。

今年は10月末から当地信州・塩尻も急に冷え込み木々の葉がきれいに色づき素晴らしい紅葉となっています。そんな中での秋の糖尿病患者会・ひまわり会の“親睦もみじ狩り”を患者さん、病院職員総勢23名が満喫しました（写真）。そこで「糖尿病とMulti-problem」と題して糖尿病と合併症、併存症、社会的障害の関係をお話しし、その対応について考え Multi-problemに対応する底力に少し触れました。その後は 脳トレなどのレクリエーションを行い、美味しい昼食をいただきました。午後からは かやぶきの館周辺の紅葉を楽しんだり、温泉に入り楽しい時間を過ごし、帰院しました。（古川 安之）

塩尻協立病院は、内科・小児科・人工透析科、病床数99の地域密着型の病院です。糖尿病治療にあたっては、患者さん・ご家族と医療スタッフ相互の支えあいを目指し、患者会活動に力を入れています。コロナ禍でも、いろいろな工夫をして活動を継続してきました。



ひまわり会20周年を記念で植樹したヤマボウシ



横川ダムでの一コマ

ワークショップ「認知症・糖尿病患者に対する多職種連携」への参加のお願い

Multi-problemへの対応として上記ワークショップを計画しています。皆さん 症例提示行いながら対応力を深めましょう。

マスコットキャラクター 決定！



わび

ワサビの犬「わさびーぬ」の一匹。やんちゃでいたずら好き。冷たく澄んだ水が大好きで、暑いところはちょっと苦手。

そば仙人

とある山奥に住む蕎麦の仙人。博識で、血糖値を緩やかに上げる食の知恵を知っている。雲に乗り、植物の声を聞くなど様々な神通力を持つ。

さび

しっかり者のわさびーぬ。実は甘えん坊な一面もある。やんちゃな「わび」に振り回されながらも、みんなを陰でそっと支えている。

ポスターの紹介

作:

松本協立病院 小児科 光武鮎さん

第38回糖尿病シンポジウムのポスターは、松本協立病院小児科の光武鮎先生が作ってくださいました。長野県らしい雄大な山々を背景に、カモシカやサル、雷鳥といった“信州の仲間たち”が元気に描かれています。

そして雲の上からは、マスコットキャラクター「そば仙人」が、みんなを優しく見守っています。見ているだけでほっこりする、あたたかいデザインに仕上がりました。

第38回 全日本民医連 糖尿病シンポジウム

Multi-problemに対する底力

～先端・在宅・格差社会～

そば仙人



日時：2026/10/23 (金) 13:00～10/24 (土) 12:00

場所：松本駅前ホテルモンターニュ（長野県松本市中3-2）